

TOP page

資料室

イベント情報

講師を探す

Worker's 広場

関連リンク

資料室



HOME | 資料室 | 一般教養 | 自己啓発 | 賀川豊彦 (16)

労働組合

労働者福祉・共済

一般教養

社会保障

労使トラブル法律相談Q&A

労働関係法

経営全般

人間関係とコミュニケーション

ライフプラン

男女共同参画

公務員関係法

日朝の歴史

7つの習慣

中東の歴史

ボランティア活動

環境活動

社会貢献活動

自己啓発

生涯学習

外交・防衛問題

資本論

教育カリキュラム

日本国憲法

賀川豊彦 (16)

賀川は全身全霊で戦後日本の再建に参加しました。

民主主義が全体主義に取って代わり、言論の自由と出版の自由が認められ、女性が選挙権を獲得し、労働者の回帰権は保証され、大規模な土地改革が数百万の小作農を封建制度から解放しました。

日本に原子爆弾を落とし、日系アメリカ人を強制収容した「地獄のアメリカ」。

それとはまったく異なる「天国のアメリカ」。

軍国主義という恐るべき重荷を取り去ってくれた「天国のアメリカ」を賀川は熱狂的に歓迎しました。

日本政府はまず戦後最初の首相「東久邇稔彦」の内閣顧問になるよう賀川に依頼しました。

賀川は日本に対する好意的な取扱を得るためにその影響力を行使しました。

彼は「読売報知」の8月30日号に長文の公開書簡「マッカーサー総司令官に寄す」を発表します。

その書簡は、同情をもって日本を扱い、天皇制を護持するよう最高司令官に求めたものでした。

数日後に出された翻訳記事がアメリカ中に驚きを巻き起こしました。

大部分のアメリカ人が当時日本の戦争狂いの原因と見なしていた天皇と天皇制への敬愛を賀川が示していたからです。

賀川の嘆願は、連合国とアメリカによって戦後処理戦略として作られていた日本の改革と再建の総合政策を補強するのに役立ちました。

しかし、天皇への敬愛的態度によってアメリカ人からは多くの非難を招きました。

いつも自分を舞台の真ん中に置く賀川は、ある人々からは、目立ちたがり屋として非難の対象となり、別の人々からは偉大な指導者で行動の人と見なされました。

戦争によって押しつぶされていた賀川に活気が戻ってきました。

日本協同組合連合会の会長に選ばれ、日本教育者組合の組織化を手助けし会長に選ばれ、安部磯雄や高野岩三郎らとともに日本社会党を結成しました。

また裕仁天皇に招かれて皇居で講義をするような活躍でした。

このような活躍にもかかわらず賀川を戦争犯罪人として追放しようとする連合国最高司令部は執拗に追い落としを図ります。

「ニューズウィーク誌」は賀川が戦争を助長した日本政府の手先だと非難しました。

最終的に追放は免れますが、そんな抗争に嫌気をさしたのか彼の後半生は説教活動や講演活動に費やされていきます。

(つづく)

資料に関する解説やサイト内ブックマーク、簡単なクイズもできる無料会員登録のお申し込みはこちらになります。

Worker's Library 会員登録

お申し込みはこちらです。

>> 一覧へ戻る

傾聴

語り部スキル

🔍 キーワード検索はこちら

🔍 サイトマップ 🔍 このサイトについて 🔍 個人情報保護の取組みについて

🔍 ページTOPへ

TOP page

資料室

イベント情報

講師を探す

Worker's広場

関連リンク

Worker's Library 静岡で働く人のための資料閲覧サイト
JAPANESE TRADE UNION COFEDERATION DB SITE **【ワーカーズ・ライブラリー】**

Copyright© WORKER'S LIBRARY All rights reserved.